

町民との連携で成長する郷土レファレンスツールづくり

～素材あつめ(調査事例・聞き取り・実地調査)→作成・公開→メンテナンス=地域とのつながり～



奈義町立図書館(岡山県奈義町) <http://www.town.nagi.okayama.jp/library/index.html>

基本データ(数値はH25年現在)

住所	勝田郡奈義町豊沢441
電話番号	0868-36-5811
人口(図書館が所在する市町村)	6,191人
職員数(うち有資格者数)	7人(3人)
蔵書数	79,941冊
登録者数	5,549人
年間貸出冊数(H24)	53,943冊

目的・趣旨

地域の伝承(歴史・伝説・民話等)に関する基本ツールを図書館が作成・公開することで、地域への貢献、情報発信につなげる。また、町民と図書館のつながりを深めるとともに、地域に新たな文化活動を生みだすきっかけづくりにつなげる。

取組概要

奈義町は、岡山県美作地方北東部に勢力のあった地方武士団「美作管家党」の本拠地であり、管家党中興の祖がモデルとされる巨人伝説「さんぶたろう」に関する言い伝えや伝承地が数多く残っている。図書館でも、関連の調査相談(レファレンスサービス)が多く、調査のヒントになる情報発信が必要と考え、平成13年度にホームページ上で「大いなる巨人の伝説 第1部:さんぶたろう成立の謎」を公開した。内容は、自館の調査事例及び町民からの情報提供が下敷きになっており、言い伝えや伝承地については、職員が可能な限り現地で聞き取りや確認作業を行い、記述の正確さの担保に努めた。そのときにできた人とのつながりは、その後の郷土レファレンスにおいても大きな力になっている。また、単なる読みものとしてだけでなく、索引や注釈、全文検索機能(Web版=PDF)などを充実させることで、レファレンスツールとして活用できるように心掛けた。

なお、内容の鮮度を維持するには定期的なメンテナンスが不可欠であり、公開後は、新たな調査事例や町民からの追加情報をフィードバックしながら、Web版を中心に年1、2回程度小規模な更新を行っているほか、平成21年度には全面改訂を行うなど、日々情報のアップデートに努めている。

特徴

郷土の読みもの「大いなる巨人の伝説」～第1部 さんぶたろう成立の謎～

- 図書館からの情報発信と新たなレファレンスツールの提供
 - ・ 調査に適したツールがない→ないなら作ってしまう
 - ・ 冊子版の配布及びホームページでの公開(Web版)
 - ・ 読みものとしてだけでなく、レファレンスツールとして活用できるもの(索引/注釈の充実/全文検索機能[Web版]など)
- 図書館らしい地域貢献のひとつとして
 - ・ 地域研究の基本ツールの提供
 - ・ 蓄積した調査事例の地域への還元
- 町民とのゆるやかな連携の中で成長するレファレンスツール
 - ・ 新たな調査事例や町民からの追加情報、本稿を読んだ人のアドバイスなどをフィードバックしながら順次内容を更新中
 - ・ 調査を通じて生まれた町民とのつながりは財産



冊子版表紙及び索引



美作国建国1300年プレ事業関連記事
(山陽新聞2012年8月11日29面作州ワイド版より)

取組の成果と今後について

地域の伝承(歴史・伝説・民話等)に関する基本ツールを図書館が作成・公開することで、地域への貢献、情報発信につながっている。

また、図書館職員が地域を知り、町民との直接的なつながりを深めるとともに、平成24年度には、美作国建国1300年記念プレ事業の基礎資料として用いられるなど、新たな文化活動のきっかけにもつながっている。今後は、成果を活用した児童・生徒にも使いやすい郷土レファレンスツールの整備が課題と考えている。